



エコアクション21 環境経営レポート

(対象期間:2023年10月~2024年 9月)



2024年10月31日発行



亀清産業株式会社

1.組織の概要

(1)事業所名及び代表者氏名

【会社名】 亀清産業株式会社

【代表者氏名】 代表取締役社長 亀田 慎二郎

(2)所在地

本社 〒192-0032 東京都八王子市石川町957-1

倉庫 〒192-0032 東京都八王子市石川町953-3

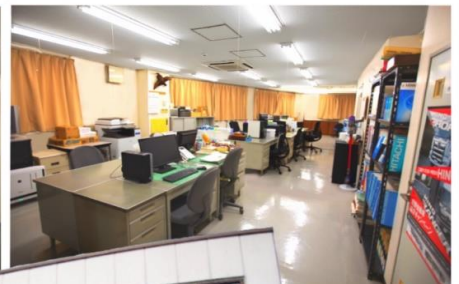
倉庫ビル



倉庫ビル2階・会議室



本社ビル2階・事務所



倉庫ビル1階・倉庫



本社ビル



本社ビル1階・工場



(3)環境管理責任者及び連絡先

【環境管理責任者】 専務取締役 中西 啓
【連絡先】 TEL 042-648-1571
FAX 042-648-1574
E-mail:nakanishi@kame-sei.co.jp

(4)事業の規模

【資本金】 1000万円
【設立年月日】 1978年2月13日
【売上高及び従業員数推移】

	単位	45期	46期	47期
売上高	百万	577	826	736
従業員数	人	9	9	11

※決算月9月(44期:2020年10~2021年 9月)

【車両保有台数】 営業車 6台
工事車両(軽含む) 3台
2tトラック 3台

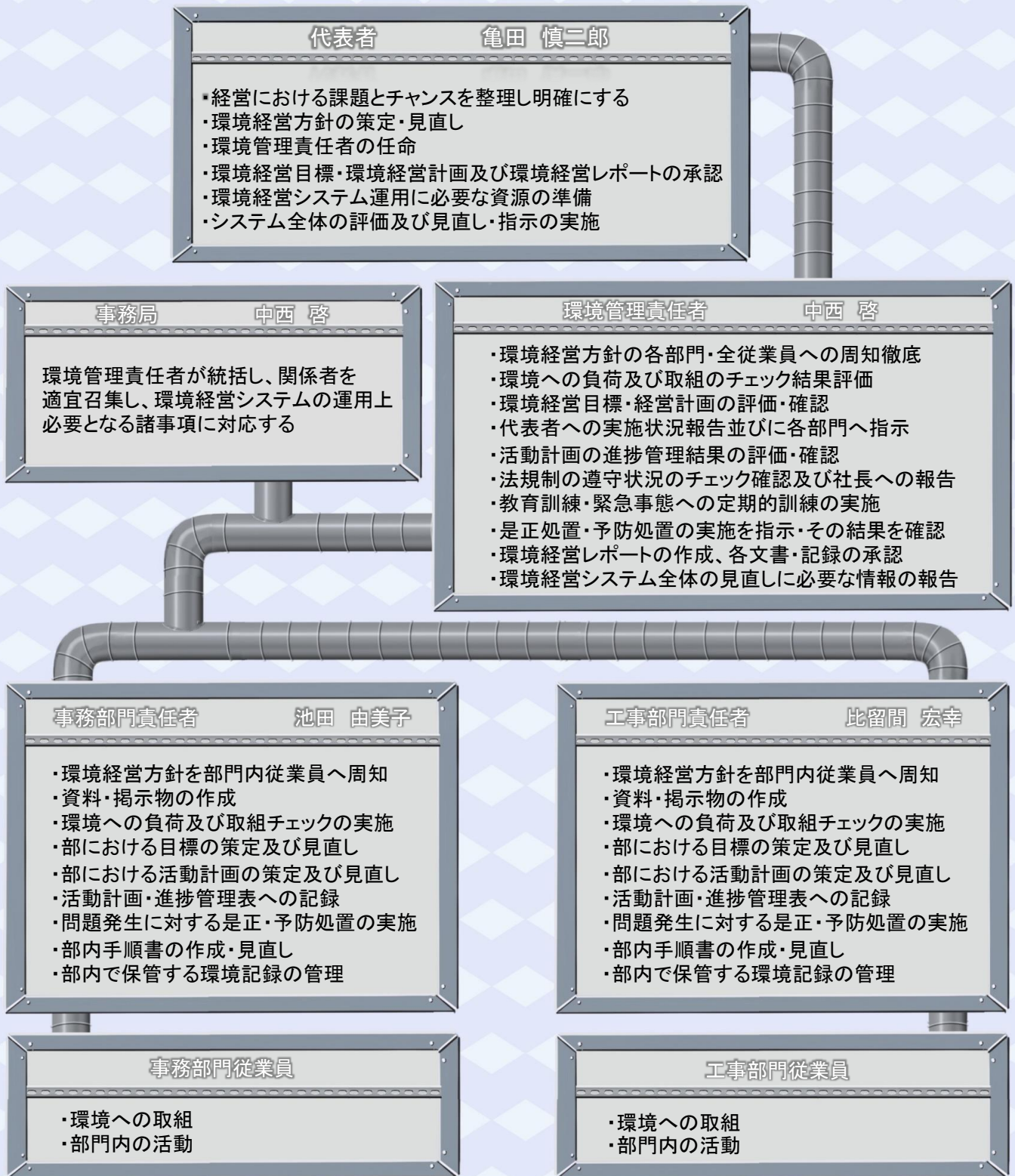
【建物床面積】 本社 300㎡
倉庫 245㎡

(5)事業活動の内容

管工事業 東京都知事許可 第122189号

- ・各種配管設計施工
- ・各種ダクト設計施工
- ・空調機器・ポンプ・冷却塔修理





2.対象範囲

【認証・登録の対象組織名】

亀清産業株式会社

【対象とする活動】

各種配管設計施工・各種ダクト設計施工

空調機器ポンプ冷却塔類修理

3. 環境経営方針

環境経営方針

基本理念

亀清産業株式会社は、設備工事業を始めとする当社の全ての事業活動において地球環境の汚染防止、限りある大切な資源の有効活用を積極的に行い、豊かな自然を次世代に引き継ぐ事を目指し、より良い地球環境作りに取り組みます。

基本方針

1. 事業活動において使用する電気、燃料、水の使用量を削減して二酸化炭素排出の削減を目指します。
2. 事業活動における廃棄物を管理把握し、廃棄物削減に対する取り組み及び分別による再資源化を目指します。
3. 作業による騒音・振動等の生活環境を配慮した工法及び工程を実施致します。
4. 環境経営の継続的改善に努めます。
5. 事業活動において適用される環境法規制等の遵守に努めます。
6. 環境活動への取り組み及び安全衛生活動の取り組みを通してお客様からのクレーム及び災害ゼロを目指します。
7. この方針を全社員が理解して、活動が確実に環境保全へ結び付くように定期的な教育を実施致します。

制定 2008年11月 1日

改定 2018年10月 1日

亀清産業株式会社

代表取締役 亀田 慎二郎

4.環境経営目標

環境経営方針の整合	環境負荷量考慮	環境の取組考慮	環境経営目標設定項目	項目	(基準期)	45期	46期	47期	48期
					43期 (2019年10月～ 2020年9月)	(2021年10月～ 2022年9月)	(2022年10月～ 2023年9月)	(2023年10月～ 2024年9月)	(2024年10月～ 2025年9月)
○	○	○	電気使用量の削減(200V) 本社全部門:単位(kWh)	目標		現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
				目標値	12,728	12,728	12,728	12,728	12,728
○	○	○	電気使用量の削減(100V) 本社全部門:単位(kWh)	目標		現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
				目標値	10,284	10,284	10,284	10,284	10,284
○	○	○	ガソリン使用量の削減 全部門:単位(ℓ)	目標		現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
				目標値	4,457	4,457	4,457	4,457	4,457
○	○	○	軽油使用量の削減 工事部門:単位(ℓ)	目標		現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
				目標値	1,667	1,667	1,667	1,667	1,667
○	○	○	水使用量の削減 事務部門:単位(m ³)	目標		現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
				目標値	216	215.5	215.5	215.5	215.5
○	○	○	LPG使用量の削減 事務部門:単位(m ³)	目標		現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
				目標値	45.9	45.9	45.9	45.9	45.9
○	○	○	灯油使用量の削減 工事部門:単位(ℓ)	目標		現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
				目標値	304	304	304	304	304
○	○	○	一般廃棄物排出量の削減 事務部門:単位(kg)	目標		現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
				目標値	1,003	1,003	1,003	1,003	1,003
○	○	○	産業廃棄物排出量の削減 工事部門:単位(kg)	目標		現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
				目標値	35,223	35,223	35,223	35,223	35,223
○	○	○	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	目標	(注1)	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
				目標値	26,833	26,833	26,833	26,833	26,833
○	○	○	グリーン購入の推進(注2) 全部門:単位:(%)	推進率	(注2)	1.0%増	2.0%増	3.0%増	4.0%増
				目標値	49.8	50.3	50.8	51.3	51.8
○			現場不具合件数の削減	目標不具合件数		45期からは現場での不具合発生件数を0件に近づける。			
○			安全教育の実施	目標年間実施回数		45期からは安全教育の年間の実施回数を3回以上とする。			
○			環境教育の実施(注3)	目標年間実施回数		45期からは環境教育の年間の実施回数を3回以上とする。			

備考:43期の実績を基に45期～48期は現状を維持すべく目標とした。(グリーン購入の推進を除く)

(注1):二酸化炭素の排出係数は、0.491(kg-CO₂/kWh)2015年度実績東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数を用いた。

(注2):グリーン購入の推進においては、環境ラベル表示(エコマーク付)の事務用品を対象とし、事務用品の全購入物品数に対するエコマーク付事務用品の購入物品数の割合(%)を高める取組みを行なうものとする。

(注3):教育内容は①環境経営システムの運用・改善について②環境保全活動の必要性・意義、③環境問題の現状及び対策、④環境管理に必要な法規制・各種管理技術について実施する。

(注4):羽村営業所は環境負荷が微小の為含めない。

(環境負荷の過去データ)

		単位	44期	45期	46期
総エネルギー投入量	購入電力	MJ	221,263	248,109	263,040
	化石燃料	MJ	221,294	249,198	169,314
総物質投入量	資源投入量	t	5	8	7
水資源投入量	上水	m ³	228	214	237
温室効果ガス排出量	二酸化炭素(係数=0.491)	Kg-CO ₂	25,938	29,159	28,991
工事件数及び設計等の件数	工事等の件数	件	633	856	901
廃棄物等総排出量	再生利用	t	14	15	19
廃棄物最終処分量	最終処分量	t	6	10	11
総排水量	下水道	m ³	228	214	252

5. 環境経営計画

当社は事業活動において発生する環境に対する負荷を低減する為、以下の項目を
全社員一丸となって実施致します。

環境経営目標		環境経営計画(施策)	実施対象部門	実行責任者	進捗管理及び記録
1	電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 不要な照明(事務室・トイレ等不在時、休憩時)の消灯 ② OA機器不使用時は電源OFF ③ 温度設定(夏場28℃・冬場20℃) ④ 冷房用に外気導入 ⑤ ドア・シャッターの開閉 	全部門	事務部門 責任者	環境経営計画 及び進捗管理表
2	ガソリン 軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① アイドリングの禁止 ② 急発進、急ブレーキ、急加速の禁止 ③ 燃料給油量の把握・記録 ④ 不要な荷物の積載禁止 ⑤ タイヤ空気圧の定期計測 ⑥ ハイブリッド車の導入 ⑦ エコドライブの励行 	全部門	工事 事務部門 責任者	環境経営計画 及び進捗管理表
3	水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 止水栓絞りによる節水 ② 蛇口のコまめな開閉操作の励行 ③ 洗車時水バケツの使用 	事務部門	事務部門 責任者	環境経営計画 及び進捗管理表
4	LPG使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① ガス湯沸かし器の種火を消す ② 手洗い・流し台使用時の温水利用の低減 ③ シャワー使用の適正時間厳守 	事務部門	事務部門 責任者	環境経営計画 及び進捗管理表
5	灯油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 不在時暖房機停止の徹底 ② ドア・シャッターの開閉を極力減らす(冷気の遮断) 	工事部門	工事部門 責任者	環境経営計画 及び進捗管理表
6	廃棄物の 排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ① ミスコピーの防止(事前確認) ② 両面コピーの励行 ③ 裏紙のメモ帳等への有効利用 ④ 資源化可能物資の分別・リサイクル化 ⑤ 端材の積極使用 ⑥ 資材の再利用 	全部門	環境管理 責任者	環境経営計画 及び進捗管理表
7	グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 再生紙の使用(コピー用紙、名刺、ノート等) ② 環境ラベル表示の事務用品を優先的に購入・使用 	事務部門	事務部門 責任者	環境経営計画 及び進捗管理表
8	現場不具合 件数の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 客先構内ルールの教育 ② 工事安全パトロールの実施 	工事部門	工事部門 責任者	環境経営計画 及び進捗管理表

備考：環境経営計画の取組みは次年度も同様に活動する。

【活動事例】

ソーラーパネルの導入



節水の励行



LED電灯の導入



ドライブレコーダー及びアプリによる社用車運行管理

ステータス	ドライバー	運行開始	運行終了	運行距離	運行時間
運行終了		06:11:06	08:05:55	49.26km	00時44分59

出発	到着	ドライバー	乗務員
0	0	1	0

運行開始	運行終了	運行距離	運行時間	アラート	ドライバー
06:11:06	08:05:42	21.26km	00時44分59	1	
07:00:54	07:18:30	1.96km	00時17分56	0	

エアコン温度設定



社用車PHVの導入



不使用時消灯の励行



ゴミの分別



金属クズコンテナ設置



6.環境経営目標の実績

47期(2023年10月～2024年9月)の環境目標の実績及び評価

目標項目	(基準期)	47期(2023年10月～2024年9月)の目標と実績		評価
	基準値		実績	
電気使用量の削減(200V) 本社全部門:単位(kWh)	(43期) 12,728	43期を基準値とし、現状維持を目標と定め評価するものとします。	実績 15,462	△
電気使用量の削減(100V) 本社全部門:単位(kWh)	(43期) 10,284	43期を基準値とし、現状維持を目標と定め評価するものとします。	実績 13,600	△
ガソリン使用量の削減 全社部門:単位(ℓ)	(43期) 4,457	43期を基準値とし、現状維持を目標と定め評価するものとします。	実績 3,702	○
軽油使用量の削減 工事部門:単位(ℓ)	(43期) 1,667	43期を基準値とし、現状維持を目標と定め評価するものとします。	実績 1,738	○
水使用量の削減 本社全部門:単位(m ³)	(43期) 216	43期を基準値とし、現状維持を目標と定め評価するものとします。	実績 259	△
LPG使用量の削減 事務部門:単位(m ³)	(43期) 45.9	43期を基準値とし、現状維持を目標と定め評価するものとします。	実績 35.1	○
灯油使用量の削減 工事部門:単位(ℓ)	(43期) 304	43期を基準値とし、現状維持を目標と定め評価するものとします。	実績 141.2	○
一般廃棄物排出量の削減 事務部門:単位(kg)	(43期) 1,003	43期を基準値とし、現状維持を目標と定め評価するものとします。	実績 870	○
産業廃棄物排出量の削減 工事部門:単位(kg)	(43期) 35,223	43期を基準値とし、現状維持を目標と定め評価するものとします。	実績 25,758	○
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	(43期) 26,833	43期を基準値とし、現状維持を目標と定め評価するものとします。	実績 27,797	○
グリーン購入の推進(注1) 全部門:単位:(%)	(43期) 49.8	目標 : (1.0%増加) 50.8	実績 62.8	○
現場不具合件数の削減	-	目標 : 0件/年以下	実績:0件	○
安全教育の実施	-	目標 : 3回/年以上	実績:3件	○
環境教育の実施	-	目標 : 3回/年以上	実績:3件	○

備考:評価欄には、以下の基準に従って評価結果を記入する。

○印=目標達成、△印=活動以外の要因を含む目標の未達成、×印=目標の未達成
(基準値/実績値=90%以上⇒○, 70~90%⇒△, 70%未満⇒×)

備考:CO₂の排出係数は0.491(kg-CO₂/kWh)2015年度実績東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数を用いた。

備考:倉庫の電気(200V、100V)、都市ガス、水使用量の評価は個別で行う。

(注1):グリーン購入の推進は、環境ラベル表示(エコマーク付)の事務用品を対象とし、事務用品の全購入金額に対するエコマーク付事務用品の購入金額の割合(%)を高める取組みを示す。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価

環境経営目標等環境活動事項		取組結果と評価
電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 不要な照明(事務室・トイレ等不在時、休憩時)の消灯 ② OA機器不使用時は電源OFF ③ 温度設定(夏場28℃・冬場20℃) ④ 冷房用に外気導入 ⑤ ドア・シャッターの開閉を極力減らす(空調機運転時の熱気、冷気の遮断) 	<ul style="list-style-type: none"> ・照明の未使用箇所の消灯が出来ている。 ・機器仕様により自動的に電源OFFが出来ている。 ・空調は夏季の熱中症、冬季の冷えによる体調不良などを起こさない無理のない節電に努めている。 ・窓開放による外気導入が出来ている ・シャッターの開放時間を極力減らしている。
ガソリン・軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① アイドリングの禁止 ② 急発進、急ブレーキ、急加速の禁止 ③ 燃料給油量の把握・記録 ④ 不要な荷物の積載禁止 ⑤ タイヤ空気圧の定期計測 ⑥ ハイブリッド車の導入 ⑦ エコドライブの励行 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリング禁止、エコドライブへの意識があり、実施できている。 ・積荷の見直しを行っている ・ハイブリッド車を3台運用している
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 止水栓絞りによる節水 ② 蛇口のコマめな開閉操作の励行 ③ 洗車時水バケツの使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い時の節水への意識が出来ている ・バケツの使用が出来ている
LPG使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① ガス湯沸かし器の種火を消す ② 手洗い・流し台使用時の温水利用の低減 ③ シャワー使用の適正時間厳守 	<ul style="list-style-type: none"> ・水使用と似た傾向があり、意識出来ている
灯油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 不在時暖房機停止の徹底 ② ドア・シャッターの開閉を極力減らす(暖房機運転時の冷気の遮断) 	<ul style="list-style-type: none"> ・不在時の機器の停止を徹底している ・シャッターの開放に気をつけている。
廃棄物の排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ① ミスコピーの防止(事前確認) ② 両面コピーの励行 ③ 裏紙のメモ帳等への有効利用 ④ 資源化可能物資の分別・リサイクル化 ⑤ 端材の積極使用 ⑥ 資材の再利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務部門でのミスコピー防止の意識をもって活動できている。 ・工場廃棄物の分別もしっかりと行われている。
グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 再生紙の使用(コピー用紙、名刺、ノート等) ② 環境ラベル表示の事務用品を優先的に購入・使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮商品の購入推進を実施できている。
現場不具合件数の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 客先構内ルールの教育 ② 工事安全パトロールの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・客先構内ルールを遵守し、環境事故などなく工事を納められている。 ・定期的なパトロールを実施している

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無

(1) 該当する主なる環境関連法規制等の遵守状況の確認・評価

No.	法令・条例等の名称	遵守状況の確認・評価
1	八王子市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例	○
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
3	下水道法及び八王子市下水道条例	○
4	騒音規制法	○
5	グリーン購入法	○
6	フロン排出抑制法	○
7	高圧ガス保安法	○
8	家電リサイクル法	○
9	消防法及び東京都火災予防条例	○
10	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (東京都環境確保条例)	○

(2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法令等チェック表を作成し、定期的に遵守状況をチェックする事により
違反等の無い事を確認しました。

尚、これらの法規制に対する関係当局からの違反の指摘、及び関連する
訴訟等は過去3年間ありません。

9.代表者による全体評価と見直し・指示の結果

- ・光熱水使用量に関しては実績値は目標未達(自己評価は△)となりました。売上としては基準値となる43期と比較すると同程度ですので、目標未達は結果だけ見ると活動の取り組みに不具合や不足がある事も、考慮する必要があると思いますが、日々の活動自体は確実に浸透していると判断しています。
引き続き環境活動に対する教育指導を実施して行きたいと思います。
また48期からは本社ビル及び倉庫ビルの電気に再エネ電力を導入しCO2排出量削減を図ります。
- ・燃料に関しては目標を達成する事が出来ました。しかし作業内容や作業場所によって大きく変動する内容ですので、目標達成に満足するのではなく、その活動の意味をしっかりと考え実行し、48期も目標を達成出来る様に、社員及び協力会社への指導を行って行きます。
- ・廃棄物に関しては一般廃棄物及び産業廃棄物と共に目標を達成する事が出来ました。
事業場で発生する日々の一般廃棄物の分別、現場作業に於ける発生する産業廃棄物の分別が、日常の当然としての取り組みとして、しっかりと浸透している結果だと思っています。
- ・総評と致しまして、昨年度に引き続き工事量が非常に多く安全面及び環境面としても忙しい一年となりました。その様な状況の中に於いても昨年度から再開した協力会社を含めた環境活動取り組みを始めとした、コミュニケーションもしっかりと取れた充実した一年だと思っています。
48期も同様の仕事量を予想しています。引き続き活動の取り組みを実施し目標達成だけではなく、活動の本質を社員一同となって考えて行動して行きたいと思います。

